

連合愛知安全衛生センターだより

愛知県勤労者安全衛生センター 〒456-0002 名古屋市中熱田区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザれある 3F
TEL(052) 684-0003 FAX(052) 684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <http://www.rengo-aichi.or.jp>

新入社員に対して安全衛生教育を行っていますか？

労働安全衛生法第59条では、新入社員等の新規雇入れ労働者（パートタイマー、中途採用者含む）や配置替え等により作業内容を変更した労働者に対して、法定の事項について安全衛生教育を実施することを事業者に義務付けています。しかしながら、新規雇入れ労働者等について、必要な安全衛生教育が実施されないまま職場に配置されることによる、知識不足等を要因とした労働災害が後を絶ちません。

雇入れ時の教育（労働安全衛生規則第35条）

- ①機械等、原材料等の危険性や有害性、取扱い方法。
- ②安全装置、有害物抑制装置、保護具などの取扱い方法。
- ③作業手順に関する事。
- ④作業開始時の点検に関する事。
- ⑤当該業務に関して発生するおそれのある疾病の原因及び予防に関する事。
- ⑥整理、整頓及び清潔の保持に関する事。
- ⑦事故時等における応急措置及び退避に関する事。
- ⑧その他、当該業務に関する安全又は衛生のために必要な事項。

新入社員の雇入れ時には、①～⑧について教育を行なう義務がありますが、労働安全衛生法施行令第2条第3号に掲げる業種（その他の業種）に該当する事業場の労働者については、①～④までの教育を省略することができます。



安全衛生教育で労働災害を防ぐ

新入社員に対する安全衛生教育は、自ら危険を回避し安全な作業を行うことができるか、またどのようにしたら職場で危険を回避し、安全に作業ができるかということについて理解をしていただき、身につけてもらうためのものです。

労働災害を防止するため一つは、作業環境である設備などモノの面で「不安全な状態」にならないようにする安全対策が必要です。新入社員に対しては、人の面で「不安全な行動」とならないようにすることが特に重要です。職場にはさまざまな危険がある事や危険防止のルールと安全に関係する取り組みを繰り返し、具体的に伝え理解してもらう必要があります。

教育を行なう際の注意点

① 相手の立場に立って教える

教育する上で一番重要なのは、相手が内容を理解して、実践することです。

そのためにも、相手のレベルやペースに合わせて、理解を確認しつつ進めることが大切です。

② 具体的に教える

「きちんと」、「ていねいに」などと言っても、その「程度」はなかなか伝わりません。「きちんと混ぜる」のであれば「色が完全に均一になるまで混ぜる」、「ていねいに持つ」のであれば「箱の底を両手で持つ」というように、具体的な言葉で説明します。

状況に応じて、見本や写真などを示すことも有効です。

③ 何故の理由を伝える

「理由」を教えなければ、何故それをしなくてはいけないのかがわからず、記憶に残らないかもしれません。「しなければならぬこと／してはいけないこと」だけでなく、「しなければならぬ理由／してはいけない理由」も説明し、正しく行動できるように指導することが必要です。

④ 順序良く教える

簡単なことから、次第に難しいことを説明する、全体に触れてから個別の内容を説明するなど、理解しやすいように説明する順番を工夫する。

⑤ 外部の専門機関等を活用する

専門的な内容を、体系立てて効果的に教育するのは容易ではありません。必要に応じて外部の専門機関や経験豊かな労働安全コンサルタント、労働衛生コンサルタント等の専門家を活用するなどして、効率よく、そして効果の高い教育を実施する。

2021年3月度 愛知県の死亡災害発生状況 <3月9日現在速報値>

5人（0人） 対前年同期9人（1人） ※（ ）内は交通事故による死亡者の内数

	業種・規模	被災者	事故の型	災害状況
2月	食品製造業 500～999名	製造工 50代 17年	はさまれ▶ 巻き込まれ その他の一般動力 機械	プラスチック箱の積上げ装置が不具合で停止したため、運転を停止することなく装置横の点検開口面から内部に身体を入れて調整したところ、当該装置が復帰し作動したため、上昇した内部のアーム付きシリンダーと点検開口面の枠に胸部がはさまれて死亡したものの。
	その他製造業 30～49名	班長 30代 11年	はさまれ▶ 巻き込まれ 射出成形機	射出成形機が不具合で停止したが、運転を停止することなく金型の間に入り、調整後、そのまま奥の覆いを締め、また手前の光線式遮断装置の光軸から身体をずらしたため機械が作動し、金型に左半身がはさまれて死亡したものの。
	一般機械器具製造業 9名以下	金属工作機械工 40代 4年	激突され 金属材料	NC旋盤を使い直径3.5cmの丸棒鋼材の先端を加工していたところ、当該鋼材が変形し、近くにいた被災者の頭部などに当たり死亡したものの。同時に、事業主も負傷したものの。

私たちの職場における取り組み事例

第1回

八道理事（全ヤマナカ労働組合中央執行委員長）

（株）ヤマナカ 愛知県を中心に食品スーパーマーケットを展開

■新型コロナウイルスが職場に与えた影響と組合活動について

新型コロナ禍により社会環境が大きく変化していく中、日々懸命な対応に追われ職場の安全・安心の確保に努力を積み重ねられていらっしゃると思います。

新型コロナウイルスの感染拡大が始まった時、食品スーパーマーケットの職場は今まで通りの「安全で安心な職場」ではなくなりました。従業員の不安や危機感が高まる中、飛沫シート、アルコール設置、検温、ソーシャルディスタンス、マスクの着用などなど、労使で情報交換を密に行い、手探りで一つ一つ対応を進め安全で安心な職場の確保に努めました。

コロナ禍の現状、お客様また従業員の安全の為にマスクを着用していることは当たり前となっております。では、コロナ禍前はどうかと言いますと、食品スーパーマーケットの店舗では、接客時にマスクを着用していることが（感染症の予防にマスクをしたいとの声もありましたが）お客様へ良い印象を与えないとして着用には消極的な考え方が一般的でした。大きな社会状況の変化の中、職場の「安全・安心」を支える前提も日々変わっていることを再認識させられました。日常生活を行うために欠かせない仕事を担っている人々が「エッセンシャルワーカー」という呼称で呼ばれるようになりました。この様なテレワークなどのリモートワークができない職場においては、従業員が「安全」な職場で働いていると「安心」して頂かなくてはなりません。従業員の代表として、労働組合が皆の意見を吸い上げ、しっかりと会社との対話を続け、従業員が安心して働くことができる職場を作っていくことが重要です。

労働組合として、変化する「安全で安心な」職場づくりに何ができるのか？今後も日々変化する社会情勢の中、学び続け、変化に対応していく必要があると考えます。



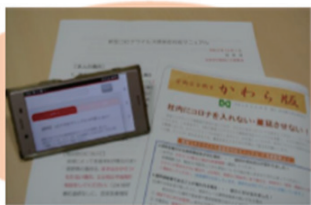
シリーズ 職場における新型コロナ感染防止対応と対策 ④

今月は新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、厚生労働省が周知している職場における、感染防止対策の実践例について紹介します。

職場における感染防止対策の実践例

○ 体調がすぐれない人が気兼ねなく休めるルール

新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対応手順の作成（製造業）



サーマルシステムの導入（社会福祉法人）



▶ サーマルシステムを施設受付入口に設置し、検温結果が37.5℃以上の者の入場を禁止している。
▶ 本システムでは、マスクの着用の検知を行い、マスクの未着用者には表示と音声で注意喚起を行う仕組みとなっている。

○ 密とならない工夫

ITを活用した対策（建設業）



▶ スマートフォン用無線機を導入し、社員同士や作業従事者との会話に活用。3密を避けたコミュニケーションをとるようにした。



▶ WEB方式と対面方式併用のハイブリッドの説明会を開催した。
▶ 対面での参加者に対して、席の間隔を空ける、机にアクリル板を設置するなどの対策を行った。

ITを活用した説明会の開催（その他の事業）

職場における感染防止対策の実践例

○ 感染リスクが高まる「5つの場面」を避ける取り組み

※ 職場では、特に「居場所の切り替わり」（休憩室、更衣室、喫煙室など）に注意が必要

休憩所での対策（小売業）



▶ 休憩室の机の中央を注意喚起付きのパーテーションで区切り、座席も密とならないよう二人掛けにし、対面にならないよう向めに配置した。

社員食堂での対策（製造業）



▶ 社員食堂の座席レイアウトを変更し、テーブルの片側のみ使用可とした。
▶ また、混雑緩和のために、昼休みを均等に取るようにした。

○ 感染防止のための基本的対策

入館時の手指等の消毒（宿泊業）



▶ 宿泊者と従業員の感染防止のため、ホテル入口の消毒液設置場所に、靴底の消毒のためのマットを設置した。

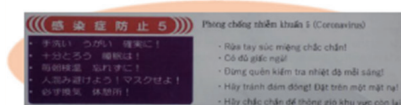
複数人が触る箇所の消毒（製造業）



▶ 複数人が触る可能性がある機械のスイッチ類を定期的に消毒することを徹底した。

○ その他の取り組み

外国人労働者への感染防止対策の周知（建設業）



▶ 建設現場に入場する外国人向け安全衛生の資料に、新型コロナウイルス感染症の注意点を外国語に翻訳したものを掲載し、周知徹底を図った。

第1回
安全衛生担当者研修会
を開催します！！

◆日時 5月25日（火）14:00～16:00

◆場所 名古屋プライムセントラルタワー 13F3・4・5会議室

◆研修内容 「ウイルス感染症対応事例に学ぶ、安全衛生管理と対策について」
※ 当日は会場での研修とともに、ZOOMでも視聴いただけます。
詳しくは安全衛生センターへ問い合わせください